【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公開番号】特開2002-96529(P2002-96529A)
【公開日】平成14年4月2日(2002.4.2)
【出願番号】特願2000-285939(P2000-285939)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ４１Ｊ　29/00
　Ｂ４１Ｊ　29/02
【ＦＩ】
　Ｂ４１Ｊ　29/00　　Ａ
　Ｂ４１Ｊ　29/02
　Ｂ４１Ｊ　29/00　　Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成16年3月5日(2004.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
レリースレバーの移動によりレリース軸を回動させて、シート使用モードを切り換えるレリース機構を備えた記録装置において、
上記レリース機構は、外装体に設けられた操作パネルの操作によりレリース駆動モータを駆動し、この駆動により、レリースレバーを移動させてレリース軸を回動し、シート使用モードを切り換えるよう構成され、
上記レリースレバーには、上記外装体の外部から目視可能なインジケータ部が形成され、このインジケータ部が現在のシート使用モードを表示し得るよう構成されたことを特徴とする記録装置。
【請求項２】
レリースレバーの移動によりレリース軸を回動させて、シート使用モードを切り換えるレリース機構を備えた記録装置において、
上記レリースレバーは、レリース軸を回動させる動作部を備えたベース部材と、このベース部材に着脱可能に設けられた交換部材とを有して成り、
上記交換部材が、外装体の開口から外方へ突出して上記レリースレバーを移動させるつまみ部材と、上記外装体の上記開口を閉塞する閉塞部材とのいずれかであることを特徴とする記録装置。
【請求項３】
上記閉塞部材は、外装体の外部から目視可能で、且つシート使用モードを表示し得るインジケータ部であることを特徴とする請求項２に記載の記録装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
【課題を解決するための手段】

請求項１に記載の発明は、レリースレバーの移動によりレリース軸を回動させて、シート使用モードを切り換えるレリース機構を備えた記録装置において、上記レリース機構は、外装体に設けられた操作パネルの操作によりレリース駆動モータを駆動し、この駆動により、レリースレバーを移動させてレリース軸を回動し、シート使用モードを切り換えるよう構成され、上記レリースレバーには、上記外装体の外部から目視可能なインジケータ部が形成され、このインジケータ部が現在のシート使用モードを表示し得るよう構成されたことを特徴とするものである。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６５】
【発明の効果】
請求項１に記載の発明に係る記録装置によれば、レリース機構が、自動レリース機構であり、レリースレバーには、外装体の外部から目視可能なインジケータ部が形成され、このインジケータ部が現在のシート使用モードを表示し得るよう構成されたことから、シート使用モードが、操作パネル上の表示以外にも表示されることとなり、現在のシート使用モードを瞬時且つ容易に把握できる。